

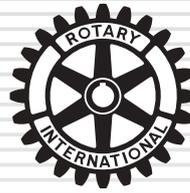


# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2015-2016



# Rotary

## District 2680



### ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

### ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引の全てにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。



ガバナーズレター.....	1
A Talking Knowledge of Rotary.....	3
IM報告.....	4
ガバナーノミニエ・デジグネート(2018-19年度ガバナー)のご紹介.....	6
文庫通信(343号).....	6
コーディネーターニュース5月号.....	7
地区委員会報告.....	7
地区行事報告.....	8
ご入会おめでとうございます.....	12
ご協力に感謝します.....	12
5月地区活動予定.....	13
出席報告	

### 本年度の表紙

川西英画伯の「兵庫百景」は昭和37年1月から毎日曜日の神戸新聞夕刊紙上に多色刷りとして一景ずつ100回連載されました。本年度は、この「兵庫百景」より兵庫県を代表する景色を抜粋掲載させていただきたいと思います。なお、MEMOは「兵庫百景」より引用させていただき、旧呼称は現呼称をカッコ内に付記いたしました。

### ❖今月の表紙 宝塚歌劇

#### MEMO

国鉄福知山線(JR宝塚線)宝塚駅下車十分。阪急宝塚駅下車五分。パラダイス劇場として発足、開演したのは大正三年四月、大劇場が完成したのは大正十三年七月。大正七年以来東京でも公演をはじめた。現在までに大劇場は二度火災にあっている。

## 「ワールドクラス」 ロータリークラブの 会長 幹事の皆様



国際ロータリー第2680地区  
ガバナー 丸尾 研一 (神戸西神)

すがすがしい若葉の季節、大いに英気を養いたい季節となりましたが、会長・幹事の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今月は青少年奉仕月間です。今更ではありますが、普段何気なく使っている青少年と赤ちゃんの呼び方について定義を紹介します。ちなみに、私は全く知りませんでした。

生まれてから小学校に入るまでに、赤ちゃんは乳児期と幼児期の2つの期間に大別されます。乳児期はいわゆる「乳児」と呼ばれる期間を指し、児童福祉法上の定義は「生後から1歳未満まで」とされます。

幼児期は「幼児」と呼ばれる期間で、定義は「1歳以上から小学校入学前の未就学児（6歳未満）」です。

では「少年」とは、少年の定義は法律により異なります。少年法では満20歳に満たない者、児童福祉法では小学校から満18歳までの者を指します（19歳はグレーゾーンなのかもしれません）。

では「青年」とは、実はこれには定義がありません。私の考える青年とは、概ね30歳までかなと思いますが、これは人によって違いますし、組織によっても違います。

少年法では20歳から29歳ごろまでの男女を指し、厚生労働省のホームページでは34歳までを若者としています。

社会組織での該当年齢として「JICA青年海外協力隊」の資格要件は20歳から39歳まで、日本青年会議所は20歳から40歳まで、「全国青年司法書士協議会」は45歳まで、心理学の場面では34歳ごろまでを指し、医療においては、15歳から39歳までが若年者とされています。

江戸時代以前の日本の武家社会では、元服すれば大人であり、青年や若者というグレーゾーンは存在しませんでした。

定義はまだありますが、これくらいにします。

よく「三つ子の魂百まで」（残念ながら3歳までの記憶はほとんどありませんが）といいますが、幼児教育は本当に大切です。子どもの人格や性格は、育て方次第です。

教育とは、そもそも何でしょうか。

「子どもが、心身ともに健全に育ちさえすればいい。」と最初は思いますが、段々と、自分の子どもだけは有名校に入学し、一流企業が官庁に就職し、いわゆる偉い人にと、本音が出てくるようになります。

教育の目的は、あくまで

「立派な人間をつくること。」

にあります。偏差値を偏重する教育ではなく、体育や徳育に重きをおいた教育により、バランスのとれた人間づくりをしなければと思います。

さて、ロータリーでは、1923年のセントルイス国際大会で

「善良で健全な市民を育てること」について討議され、当初は社会奉仕委員会の小委員会として、青少年活動は発足しました。

「各種、野外活動などを通じて、才能と熱意を呼び起こし、奉仕と責任感を育てることを目的とする。」とあります。

青少年奉仕は2010年の規定審議会で、「第五奉仕部門、青少年奉仕を加える件」（制定案10-87）が修正採択されました。

私たちロータリアンは、次世代、次々世代に対して、自分たちが持っているあらゆるノウハウを、バトンリレーしていく義務と責任があると考えます。

青少年には与えていいものと、与えてはいけないものがあると思っています。これについては、ロータリーの友誌で書きましたので、今回は割愛しますが、「青少年教育とはどうすればいいのか。」という想いがずっと前からあります。その1つに、トレーニングとティーチングとコーチングの使い分けがあります。

トレーニングは練習であり、実践的な習熟や教育が入ると訓練になり、道徳性や精神的なものが入ると鍛錬（より厳しい）になります。

ティーチングは相手に答えを教えます。これは新しいことを学ぶ上で大切ですが、ティーチャー以上のレベルアップはなかなか望めないのです。

コーチングは相手の内側から答えを引き出すことであり、クライアントの中にある様々なリソースを引き出します。

これらの三要素を対象者によって使い分ける必要があるのですが、本当に難しく、夢にみるくらい悩んでいます。

ここで青少年から離れて、高齢者と老後について考えてみたいと思います。

あるコラムに、ある後期高齢者のこんな記事がありました。

「すっかり定着した後期高齢者という呼び名は面白い。素朴でわかりやすくて的確で、まったく愉快である。」

そして、ご自分でも分類され、

「55歳から初期、60歳から早期、65歳から前期、70歳から中期、75歳から後期、80歳から晩期、85歳から末期、90歳から臨終期高齢者である。」

ちょっと洒落にもならない気がしますが、「人間は生まれた瞬間が一番若く、あとはひたすら老化していくわけだから、希望に満ちている。老いは成熟だ。」と書かれていました。これには参りました。

これは新聞のコラムでしたが、小・中学生に英語を教えている94歳の女性が、

「私はまだ現役ですから、老人だという意識はありません。この仕事ができなくなったときが老後です。今はこの仕事が忙しくて楽しくて、ほかに絵を描いたり、本を読んだりしたいと思いますが、なかなかできそうにありません。老後になったら、ゆっくりということを楽しみたいと思います。」

と書かれていました。凄みのある言葉です。これには更に参りました。

それでは一体、いつからが老後というのでしょうか。定義もありません。それは自分の心の状態であるのかもしれない。

今月は、赤ちゃんから老後まででした。

今月はEND。

# A Talking Knowledge of Rotary

## 2016年規定審議会

地区研修リーダー **三木 明** (姫路)

2016年規定審議会が、4月10日から15日まで、シカゴで開催されました。3年に一度、ロータリーの規則を改定するロータリーの立法機関で、大変重要な会議です。

世界中の534地区から各1名の代表議員が一堂に会し、実質6日間にわたるハードな会議でした。

日本のほとんどの代表議員は、9日の午後、シカゴ入りし、10日のオリエンテーションに臨みました。

到着した日は、マイナス5度という寒さで、街のあちこちに雪が残り、震えながらホテルに入りました。日本では、桜が散りはじめているというのに、なんという寒さでしょう。

ウィンディシティと言われるシカゴだけあって、風が強く、冷たく、ポール・ハリスが3人の仲間に呼びかけてロータリーを作った2月は、どれほど寒い日だったのかと思わずにはいられませんでした。それゆえ、なおさら彼らは友人の温かさを必要としていたのかも知れません。

さて、日本の34地区の代表議員は、世界の約6パーセントでしかなく、あと500人が日本人以外というのが現状です。その環境の中で、伝統的な日本人のロータリー観をいかに世界の人々に伝え、理解してもらおうか、というのが日本の代表議員の大きな役割です。

代表議員は、ロータリー研究会のプログラムに含まれている研修会の参加、RIのオンライン研修を正解率80%以上取得しないと出席できない等、出席要件がだんだん厳しくなっています。

私は、世話人として各代表議員に規定審議会についての理解を深めて頂き、日本各地区の考えや意見をまとめた上で参加しました。ただ、現地で大きく変わっていくロータリーの姿に戸惑いを隠せない方が多くおられたようです。

ポール・ハリスが、110年以上も前に考え出したロータリーが、多くの先人によって改革されながらも、守られて今日があることを振り返ってみると、ただ現象的な活動だけに目を奪われ、あり方を問うだけでなく、万古不易なものを大切にしながら、これからのロータリーに関わっていく必要があるのでしょう。

世界のロータリアンも活動内容や表現の仕方こそ違っても、心からロータリーを愛し、より良い世界にしようという崇高な理念を持っていることは私たちと何ら変わりなく、そのことを肌で感じることができる貴重な時間を持つことができました。

詳しい議事内容は、6月11日(土)に開催される規定審議会報告会でお話しします。

現会長、会長エレクト、幹事エレクトの皆様にはぜひご出席いただき、この7月1日からすぐに適用される新しいルールをご理解いただきたいと思います。

今回は、また一段と大きくルールが改定されました。世界の多くのロータリアンが考えているロータリーの中で、日本のロータリーが守るべきことを再確認する、いい機会であると思います。

皆様ご自身が、日本のロータリーの立ち位置をしっかりと認識し、今後のあるべき姿をお考え頂きたいのです。

感謝と共にこの10日間を振り返り、改めて皆様に詳しくご報告申し上げます。

## ◆但馬グループIM

11月1日(日)◆豊岡ブルーリッジホテル

ガバナー補佐 古屋 耕三 (和田山)

第2680地区一番で、11月1日IMを行いました。  
 テーマ「地元の原石を磨け！」と題して、朝来市少年少女オーケストラによる歓迎の演奏をしてもらいました。このオーケストラは、ふるさと創生の一億円の資金の中で生まれました。ロータリーメンバーには大変喜んでいただきました。

又、記念講演は和田山ロータリークラブからグローバル補助金を活用して、ロンドンに留学した奨学生、畑山真穂さんに「つなぐ」をテーマに発表してもらいました。

IMに参加していただいた来賓、メンバーの皆様に改めて感謝申し上げます。



## ◆東播第1グループIM

12月5日(土)◆ホテルキャッスルプラザ西明石

ガバナー補佐 日置 大之 (明石北)

『TRY HARD TO ENJOY PURE ROTARY』これを丸尾ガバナーの行動指針として、今年度の東播第1グループのIMを進めてきました。

4RCの『TRY』が地域における存在を高め、感心を深めることへの提案として協議してきました。

そこで、講師として、明石のことを良くご存知で、明石在住の阪神電車社長藤原崇起氏をお迎えして、阪神沿線の活性化についてをテーマに講演していただく機会を持つことが出来ました。明石駅前再開発完了後、『明石に住んで良かった』と思える町にしていくために我々が何をすべきか考えるヒントを頂きました。そして更なる利便さに優れた明石を追求していきたいものです。



## ◆西播第1グループIM

2月6日(土)◆ホテル日航姫路

ガバナー補佐 常次 佳丈 (神崎)

2月6日、晴天の姫路城を仰ぎ、ホテル日航にて、西播第1グループIMを開催いたしました。ご来賓の方々、グループ6 RCの会員、等、総勢231名の出席を得ました。

テーマをENJOY ROTARYと決めて、プログラムはロータリーファミリーで実施しました。

特別講師、ロータリーの友編集長、二神典子様のご講話では、ロータリアンは常にロータリーバッジを身に付け、それにふさわしい行動をするように教えられました。

次に、第37回RYLA受講生の畑山浩志様で芸名『笑福亭智六』と称し上方落語家、登場。彼と仲間の落語家達での演芸で会場は大爆笑となり、続く、パーティは、正に笑う門には福来る、グループの和が深まりました。



## ◆神戸第2グループIM

2月27日(土)◆神戸ポートピアホテル

ガバナー補佐 瀧川 好庸 (神戸西)

今回のIMテーマは「地域とともにあるロータリー」と設定しました。当日は来賓として丸尾研一ガバナーはじめ多数のバスターガバナー、地区内のガバナー補佐全員のご臨席をいただきました。基調講演者にはポートアイランドにある日本初の家族滞在型小児がん治療専門施設「チャイルド・ケモ・ハウス」の萩原雅美氏をお迎えし、施設の現状やご自身のご経験を踏まえたご講演を頂戴致しました。また、懇親会では同施設に対する募金活動をさせていただいたところ、皆さまに多額の募金にご協力いただきました。無事にIMを終えることができ、ご協力とご参加いただいた皆様に心よりの感謝を申し上げます。





# 矢野宗司氏(加古川中央RC所属)のご紹介



## ■ 略 歴

1953年 7月30日生まれ 62歳  
 1975年 加古川塾(学習塾)設立  
 1978年 大阪大学人間科学部卒業  
 1984年～現在 株式会社加古川塾代表取締役  
 1994～2008年 週3日制予備校連盟理事長  
 2001年 有限会社アローフィールド(不動産賃貸業)設立  
 現在 監査役  
 2009年～現在 株式会社ファーストアロー監査役

## ■ ローターリー歴

1992年 加古川中央ロータリークラブ入会  
 2006-07年度 幹事  
 2010-11年度 会長  
 2013-14年度 創立40周年記念特別幹事  
 2012-14年度 地区社会奉仕委員会 地域問題小委員会委員長  
 2014-15年度 地区社会奉仕委員会副委員長・地域問題小委員会委員長  
 地区戦略計画委員会副委員長  
 2015-16年度 地区社会奉仕委員会委員長  
 地区戦略計画委員会副委員長  
 2016-17年度 地区ロータリー財団委員会副委員長・補助金小委員会委員長  
 東播第2グループガバナー補佐

ポール・ハリス・フェロー 米山功労者(第5回)

## 文 庫 通 信 (343号)

### ローターリアンの矜持

◎「ロータリアンの矜持」	藤川 享胤	2015	1p	(D.2800月信)
◎「ロータリーの親睦」	松田 泰長	2016	1p	(D.2790月信)
◎「親睦の真意は」	櫻木英一郎	2016	1p	(D.2790月信)
◎「“そよ風に 稲田のかおり 山深し”(ロータリーに輝きを)」	久野 薫	2015	1p	(D.2680月信)
◎「ロータリーのバッジはいいバッジである」	塚原 房樹	2015	1p	(D.2510月信)
◎「いま求められる寛容の精神“Toleration”」	塚原 房樹	2016	2p	(D.2510月信)
◎「続・国際ロータリーの変質」	新藤 信之	2015	20p	
◎「『クラブ戦略委員会に関するアンケート』回答要約」	村橋 義晃	2016	2p	(D.2660月信)
◎「ロータリー創立記念日に纏わる遊び種」	神崎 正陳	2010	9P	

【上記申込先：ロータリー文庫】

### ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ローターリー文庫 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館：午前10時～午後5時 休館：土日祝日

### 公共イメージ向上作戦・ロータリーのブランドを高めるために

第3ゾーン公共イメージコーディネーター補佐 伊藤文利 (倉吉)

RIは10数年前、創立100周年を迎えるにあたりロータリーを更に規模拡大させるため新たな戦略計画を立てた。更にそれを裏付ける形でCLP、DLPを同時期に導入した事は記憶に新しい。戦略計画によるクラブ強化、財団強化、広報強化の3点を推し進め、ロータリーの発展を期する一方、CLPではクラブの管理組織を改編し5大常任委員会を立ち上げ、その中に会員増強、財団、広報の3委員会を組み込んだ。

以上の事実から3大優先事項と銘打ったこの3点は現在我々ロータリアンが最も重要視し、且つ実現すべき約束事であると認識しなければならない。その3部門の中で特に我が国の「広報」は歴史的にマイナー扱いにされ、軽視されていたと思う。実際、ロータリーは一部の市民から金持ちの昼飯会とも誤解されたり、我々が記念物建立しても後面の片隅に小さくクラブ名を刻むだけ等、いわゆる陰徳精神が奨励されていた為か、どんなに良い奉仕をしても市民には我々の善意が十分に伝わらなかったし、地域社会にも正しく理解されていなかった。

RIはそれらを踏まえ、諸々の情報を我々に「内部広報」としてゾーン、地区、クラブに流し続けて来た。一方、末端のクラブは夫々の奉仕活動を地区、ゾーンを経てRIへ計数的に報告するよう最近になって奨励し始めた。

このような実績と戦略計画の周知徹底の努力の結果、ロータリーに関する積極的「外部広報」やそのスキルも少しずつではあるが洗練され、形が見えるようになって来たと思う。その実例として世界各地のロータリー奉仕活動は色んなメディアに取り上げられ、広く社会に詳しく報じられるようになった。その数や頻度は年々増え続けているのは大変喜ばしい。特にRIが熱心に進めるSNS（フェイスブック、ツイッター等）の様なIT活用によるPR戦術は将来益々発達すると考えられるので、我々も遅れをとらないようにしたい。

さて、我々は110年の長きに亘り「超我の奉仕」を黙々と実行してきたが、ロータリーの地域社会における認知度は残念ながら僅か20%と誠に低く嘆かわしい。その為、RIはロータリーのブランディング化を強く推し進めて来た。ブランドとして認知度の低いロータリーを有名ブランドに育て上げるのが我々の仕事である。しかしブランドとして認知されるのはロータリアンの力ではなく最終的に市民の選択である事を忘れてはならない。市民にロータリーをブランドとして認識してもらう為には普段からコツコツとクラブが、会員個人が地道に奉仕活動を続け、まず「認知」してもらう、「信頼」してもらう、「好意」を持ってもらう、そして最後に「期待」してもらう、この繰り返しでロータリーブランド醸成の素地だと認識すべきであろう。

大切な事は我々ロータリアン一人一人が誰からも尊敬と信頼される社会人・職業人として存在する事が最高の広告塔であり、ブランディングの礎石でもあると確信します。

## 地区委員会報告

### 第5回多様化小委員会

3月8日(火)◆ガバナーエレクト事務所会議室

多様化小委員会委員長 梅原 可奈子(西宮夙川)

第5回多様化小委員会が、神戸ポートピアホテル・ガバナーエレクト事務所会議室にて丸尾研一ガバナーをはじめ、多様化イベント・パネルディスカッションにおけるパネリストの方々にご出席を頂き開催された。この委員会に先立ち、地区大会の多様化イベント開催会場であるトパーズの間で16時より約一時間にわたり、トータライザーの機器を使用したリハーサルが行われた。その後、17時からの小委員会では、資料としてパネルディスカッション設問案、及びシナリオ案、会場図面、役割分担表を基に、当日のイベントの進行についての最終確認を行った。

### 第8回規定審議委員会

3月23日(水)◆ガバナー事務所会議室

規定審議委員会委員長 堺 充廣(神戸西)

3月23日午後5時よりガバナー事務所会議室にて、丸尾研一ガバナー、瀧川好庸ガバナーノミニ、滝澤功治バスターガバナー、三木明規定審議会代表議員、中村尚義規定審議会補欠議員、今田学志代表幹事、神谷誠治次期代表幹事にもご出席いただき、第8回規定審議委員会を開催しました。

今回の委員会で、昨年11月26日開催の第4回委員会から進めてきた2016年規定審議会立法案（制定案117案、決議案64案）の検討が終了しました。本年度は、各クラブに対して立法案についての意見照会をし、30のクラブから回答を頂戴し、これらの意見を参考に検討を進めました。ご協力、ありがとうございました。

今回の検討結果を元に、4月11日からシカゴで開催される2016年規定審議会で当地区の意見として表明して審議に反映させ、ロータリーがより良い姿となるように努めることになりました。

なお、6月11日(土)に、2016年規定審議会報告会を開催します。追って、ご案内が送られますので、ご出席いただきますようお願いいたします。

## ◆2016-17年度 補助金管理セミナー

2月7日(日)◆神戸国際会議場

次期補助金小委員長 矢野 宗司 (加古川中央)

室津年度補助金管理セミナーが上記日程で開催された。各クラブより次年度の会長、幹事、及び担当者が多数参加した。セミナーは丸尾ガバナーの挨拶で始まり、続いて、室津ガバナーエレクトより挨拶並びに次年度のRIテーマについての説明があり、久野次期ロータリー財団委員長による「財団の第Ⅱ世紀」と題した講演があった。

その後、各セッションごとに担当の委員長から、補助金プロジェクトの包括的な説明、過去3年間の実施状況、申請から実施までの流れ、また、地区補助金奉仕プロジェクト並びにグローバル補助金プロジェクトについて、そして最後に補助金の管理と報告について具体的な説明がなされた。

セッションの後では、セミナーの内容を踏まえた15の質問と回答により、理解の確認を行い、さらに質疑応答の後、瀧川ガバナーノミニニーによる挨拶と補助金プロジェクトへの申請要請によって、セミナーが締めくくられた。

新補助金制度が始まって3年になるが、残念ながら当地区の補助金プロジェクトの申請状況は、他地区と比べてもかなり低調である。確かに、申請の締切が早い、申請が煩雑である等の意見はあるが、その状況はどの地区にも共通した事項であり、今後よりクラブの積極的な参加が望まれる。

参考 主な質問とその回答

**Q1** 財団補助金の参加資格は一度取得すれば2年間は有効である。

**A** × 参加資格は毎年得なければなりません。ちなみに参加資格とは、  
・補助金管理セミナーに参加すること  
・MOU(クラブの覚書)を提出すること  
・地区が定めた追加資格条件に同意すること  
の3点です。

**Q2** 財団の承認前に費用を支払った時は、その費用については認められないが、承認後の費用は認められる。

**A** × 財団の承認前に費用を支払った場合は、事業そのものが認められません。また、補助金を受領するためには専用の銀行口座を設けなければなりません。

**Q3** 物品の寄贈のみの事業は認められない。

**A** ○ 単に物品の寄贈のみでは事業として認められません。

**Q4** プロジェクトの見積業者がロータリアンの場合、あらかじめロータリアンであることを明示しておけば、問題なく認められる。

**A** × 見積業者と関係のあるロータリアンがプロジェクト委員会のメンバーの場合は認められません。

**Q5** グローバル補助金はすべて6つの重点分野のいずれかに基づいたものでなければならない。

**A** ○ グローバル補助金は6つの重点分野のいずれかに関連する必要があります。



## ◆2016年 地区チーム研修セミナー

2月21日(日)  
神戸三宮東急REIホテル  
3階ボールルーム

室津年度の各地区委員会委員長、副委員長、小委員長、及びガバナー補佐とが一堂に集い、研修と懇親会を行った。

室津ガバナーエレクトから国際協議会の報告があり、次年度RIテーマ「人類に奉仕するロータリー」の説明があった。

参加人数：59名



## ◆2016年 地区研修・協議会リーダー会議

3月27日(日)  
神戸ポートピアホテル  
本館地下1階生田の間

4月29日開催の地区研修・協議会に向けその準備会議であるリーダー会議がPETS同日の午前中に開催された。

10分科会に分かれて其々にリーダーが中心となり、各部門毎に内容・構成・資料等について詳細な打ち合わせを行った。次年度RIテーマ「人類に奉仕するロータリー」を受け、特色を生かした地区研修・協議会としたい。次年度に向け、いよいよスタートである。

参加人数：64名

## ◆2016年 会長エレクト研修セミナー(PETS)

3月27日(日)  
神戸ポートピアホテル  
本館地下1階偕楽の間

当日は、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、次期ガバナー補佐、次期地区役員、次期地区研修委員会と会長エレクトが参加されました。

セミナーは、丸尾ガバナーの挨拶、室津ガバナーエレクトから「RIテーマと地区活動方針」の発表、石井良昌次期地区研修リーダーより「ロータリーの基本とクラブ会長の役割と責務」



について説明があり、佐茂省治次期地区財務委員長から「地区財政の現状と2016-17年度一般会計収支予算(案)」の説明があり、休憩をはさみ「ロータリークラブ・セントラル」へのクラブ目標入力を実際にパソコン使って確かめて頂きました。その後「ロータリークラブ・セントラル」への入力における問題点と解決策ならびにIMについて、グループ討議していただきました。

セミナー終了後は、懇親会が開催され、地区グループ別に席に着き、和やかにかつ活発に意見交換を行い、懇親を深められました。

## ◆第1回RYLA学友会セミナー

3月20日(日・祝)～21日(月・振)◆しあわせの村  
RYLA学友会 企画委員長 阪本 龍太郎

去る2016年3月20～21日しあわせの村にて、第1回RYLA学友会セミナーを開催致しました。

「それぞれのRYLAをわかちあい、未来を共に考える ～Share of RYLA～」という趣旨のもと、RYLA学友会が初めて企画・運営をしました。

シンポジウムでは、それぞれのRYLAを分かち合うことを目標におき、

- ①RYLAとの出会い
- ②RYLA体験
- ③私のRYLA

という三つのテーマに沿って、それぞれのRYLAの思い出を語り、分かち合うことができました。

夜は翌日のフォーラムに向けて「ライラリアンの務めとは？」というテーマについてバズセッションを行いました。

RYLAセミナー本番では、最終夜、各班が部屋に籠りフォーラムに向けて、テーマに沿った様々な意見を出し合う事を「バズセッション」と呼びます。グループとしての結論に至るまでのプロセスと、フォーラムでの議論の応酬はセミナーの重要な山場

です。

今回の学友会セミナーでのフォーラムは、ライラリアン個人・学友会そしてロータリーが、共同体としてどのように協調・自立を探っていくか？が議論されました。

今回は1泊2日のため、短いキャビンタイムとなりましたが、酒を交わし、膝を突き合わせ、語る場には特別な会話が生まれます。毎回宿泊を伴う行事の際は、参加者が一番楽しみにしている場かもしれません。

全体を通じ、RYLAにはいったい何があるというのか？38年間守り育まれてきた余島でのRYLAセミナー開催にはどんな理由があるのか？年齢や立場を超えて、共に答えなき答えを探る様子は大変素晴らしいものでした。

最後になりましたが、セミナー開催にあたり、RYLA学友会顧問である深川パストガバナーをはじめ、丸尾ガバナーや瀧川ノミニー、ご参加いただきました皆様のご協力に感謝申し上げます。

今後とも何卒よろしくお願い致します。



## ◆ローターアクト指導者育成セミナー

4月10日(日)◆こうべまちづくり会館 2階ホール

地区ローターアクト代表 花岡 意佐夫

4月10日神戸にてローターアクトの指導者育成セミナーを行いました。次年度のための研修会です。プログラムは三部構成で第一部は坂東地区青少年奉仕委員長による「ローターアクトとは？」という本質を考える講演でした。第二部は地区RA代表経験者と各クラブ会長・幹事をパネラーにしてパネルディスカッションを行い、ローターアクターとしての意識・日々の想いを熱く語りました。第三部はグループディスカッションを行い、理想のローターアクターを語り合い、その理想を叶える為にはどうすればいいか？を考え、そして実行することをグルー

プで話し合いました。ローターアクトの目的をしっかりと勉強して、自分にできる奉仕というものを計画できたと思います。新しいクラブができ、アクト歴の短い会員が増えてきました。そんな中に実りある研修会ができたと思います。

2680地区のローターアクトは高齢化にありましたが、新入会員が増えてローターアクトとは？という知識を送ることができたのでは無いでしょうか？このような素晴らしい時間を作って頂いたホストクラブの神戸RACの皆様ありがとうございました。



# ご入会おめでとうございます(敬称略・クラブ順)

## 芦屋



近藤 誠人  
建設業  
3/2入会

## 甲子園



松本 一郎  
税理士  
3/23入会

## HYOGO-クリ-クラブ



貴島 清美  
経営者協会  
4/1入会

## 神戸



石井 正信  
中央銀行  
3/24入会

## 神戸北



大塚 重雄  
矯正歯科  
4/4入会

## 神戸ハーバー



三原 幸三  
ビジネスサポート  
4/6入会

## 加古川



田畑 道昭  
新聞発行  
4/5入会



高浜 佳司  
電気工事  
4/5入会



鶴田 彰二  
機械部品製造  
4/5入会



鳴瀬 謙一  
石材製品  
4/6入会



久保田剛広  
商業銀行  
4/20入会



山下 大輔  
自動車販売  
4/15入会

## 相生

## 豊岡

# ご協力に感謝します(敬称略・クラブ順)

## ベネファクター

## マルチプル・ポールハリス・フェロー



木口 一郎  
(芦屋)



石本 一也  
(尼崎東)



一井 昇  
(加古川中央)



前川 忠範  
(加古川中央)



三村 浩之  
(加古川中央)



大庫 俊介  
(加古川中央)

## マルチプル・ポールハリス・フェロー



多木 有一  
(加古川中央)



宇田川 隆  
(加古川中央)



浅井 研介  
(龍野)



官野 英彦  
(龍野)



三木 研司  
(龍野)



三木 政司  
(龍野)

## マルチプル・ポールハリス・フェロー

## ポールハリス・フェロー



森崎 嘉章  
(龍野)



玉垣 正幸  
(龍野)



上林 勝  
(龍野)



芳野 芳造  
(龍野)



天王寺谷 貴  
(芦屋)



三浦 隆則  
(加古川中央)

## ポールハリス・フェロー



大村 直  
(加古川中央)



多木 信行  
(加古川中央)



内木場 徹  
(加古川中央)



山谷 光  
(加古川中央)



仲田 五郎  
(北条)



片岡 篤志  
(龍野)

ポールハリス・フェロー



片岡 孝次  
(龍野)



喜多村隆博  
(龍野)



小坂 忍  
(龍野)



大岩 清人  
(龍野)



尾崎 健  
(龍野)



崎野 圭子  
(龍野)

ポールハリス・フェロー



壺阪興一郎  
(龍野)



上田 護國  
(龍野)



官野 英彦  
(龍野)



喜多村隆博  
(龍野)



崎野 圭子  
(龍野)



富田 哲雅  
(龍野)

米山功労者(3回)

米山功労者(2回)

米山功労者(1回)



室崎 晴之  
(龍野)

5 月 地 区 活 動 予 定

日 時	行 事 名	場 所
1日(日) 14:00~	インターアクター代表オリエンテーション	神戸三宮東急REIホテル ポールルームA
10日(火) 17:00~	第6回戦略計画委員会	ガバナー事務所会議室
15日(日)	第46回神戸まつり ポリオパレード	三宮フラワーロード
17日(火) 17:30~	第9回規定審議委員会	ガバナー事務所会議室
19日(木)~22日(日)	RYLAセミナー	余島野外活動センター
19日(木)~22日(日)	青少年長期交換来日生東京旅行	
21日(土) 14:00~	伊丹有明RC創立40周年記念式典・懇親会	伊丹シティホテル 光琳の間
21日(土)~22日(日) 13:30~	第21回日本青少年交換研究会・東京会議	東京
28日(土)~6/1日(水)	2016年ロータリー国際大会	韓国・ソウル
28日(土)~30日(月)	国際大会地区基本ツアー	
29日(日) 18:30~	ソウル国際大会ガバナー主催夕食会	ハヌソ会賢店
30日(月) 9:30~	第17回ロータリー国際囲碁大会	韓国・ソウルKINTEX (ソウル国際大会会場) 内

# 国際ロータリー第2680地区 2016年3月出席報告

	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数				東 播 第 一 4	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数			
				2015年 7月1日	当月末	増減	女性					2015年 7月1日	当月末	増減	女性
尼 崎 6	尼 崎	3	81.78	34	36	2	1	東 播 第 一 4	明 石	4	84.22	49	43	-6	0
	尼 崎 北	4	93.45	40	42	2	0	東 播 第 一 4	明 石 西	4	100.00	41	40	-1	1
	尼 崎 東	4	97.57	43	44	1	0	東 播 第 一 4	明 石 北	5	94.44	44	47	3	0
	尼 崎 西	5	97.29	37	38	1	2	東 播 第 一 4	明 石 南	4	98.91	24	24	0	0
	尼 崎 南	4	96.69	33	33	0	4	東 播 第 一 4	小 計		75.51	158	154	-4	1
	尼 崎 中	4	94.56	23	23	0	1	東 播 第 二 5	高 砂	4	97.14	42	37	-5	3
	小 計		93.56	210	216	6	8	東 播 第 二 5	加 古 川	4	84.98	75	74	-1	0
阪 神 第 一 5	伊 丹	4	85.79	42	44	2	0	東 播 第 二 5	加古川中央	4	85.51	55	57	2	0
	川 西	4	99.19	34	34	0	5	東 播 第 二 5	高砂青松	4	98.70	45	45	0	2
	伊丹有明	3	98.67	28	27	-1	0	東 播 第 二 5	加古川平成	5	88.02	14	15	1	1
	川西猪名川	4	94.78	23	22	-1	3	東 播 第 三 5	小 計		90.87	231	228	-3	6
	伊丹昆陽池	4	91.01	18	17	-1	0	東 播 第 三 5	三 木	4	96.16	55	55	0	0
小 計		93.89	145	144	-1	8	淡 路 5	小野加東	5	98.40	39	42	3	1	
阪 神 第 二 6	西 宮	5	100.00	54	53	-1	0	淡 路 5	北 条	4	96.00	37	39	2	2
	芦 屋	4	83.14	48	47	-1	0	淡 路 5	西 脇	3	99.24	45	44	-1	2
	甲 子 園	5	90.60	40	41	1	2	淡 路 5	三木みどり	3	96.77	33	31	-2	0
	西宮夙川	4	88.23	41	39	-2	5	淡 路 5	小 計		97.31	209	211	2	5
	芦屋川	3	85.00	28	27	-1	1	淡 路 5	洲 本	5	92.43	36	38	2	1
小 計		90.10	236	232	-4	14	淡 路 5	南 淡 路	4	94.57	26	28	2	4	
阪 神 第 三 8	宝 塚	2	100.00	22	23	1	2	淡 路 5	淡路三原	5	93.69	19	21	2	0
	三 田	4	91.95	21	20	-1	0	淡 路 5	津 名	5	87.71	36	37	1	0
	篠 山	5	100.00	46	45	-1	0	淡 路 5	あわじ中央	5	90.48	18	21	3	0
	柏 原	4	94.91	49	48	-1	0	淡 路 5	小 計		91.78	135	145	10	5
	宝塚武庫川	5	94.44	33	35	2	0	西 播 第 一 6	姫 路	5	93.90	83	86	3	0
	三 田 南	4	100.00	7	7	0	0	西 播 第 一 6	姫 路 南	3	97.20	81	82	1	0
	宝 塚 中	5	88.22	33	34	1	9	西 播 第 一 6	姫 路 西	5	83.32	73	73	0	2
	HYOGOロータリー Eクラブ	3	100.00	21	23	2	5	西 播 第 一 6	姫 路 東	3	100.00	75	72	-3	2
小 計		96.19	232	235	3	16	西 播 第 二 4	神 崎	4	81.38	31	29	-2	0	
神 戸 第 一 7	神 戸	4	91.64	155	156	1	0	西 播 第 二 4	姫路中央	5	100.00	5	5	0	0
	神 戸 東	4	87.90	109	108	-1	0	西 播 第 二 4	小 計		92.63	348	347	-1	4
	神 戸 東 灘	3	84.94	32	33	1	3	但 馬 5	赤 穂	5	89.45	41	40	-1	0
	神 戸 有 馬	5	95.28	10	9	-1	0	但 馬 5	相 生	4	100.00	39	40	1	2
	神 戸 南	3	93.16	82	78	-4	0	但 馬 5	龍 野	5	96.15	49	51	2	4
	神 戸 六 甲	4	80.36	15	14	-1	0	但 馬 5	上 郡 佐 用	3	100.00	24	24	0	7
	神 戸 ベイ	4	88.50	22	21	-1	3	但 馬 5	小 計		96.40	153	155	2	13
小 計		88.83	425	419	-6	6	直 轄	豊 岡	4	96.47	34	36	2	1	
神 戸 第 二 7	神 戸 西	4	93.90	56	54	-2	5	直 轄	生 野	5	84.55	21	22	1	0
	神 戸 須 磨	5	92.77	34	34	0	0	直 轄	香 住	5	96.00	18	16	-2	0
	神 戸 北	4	88.04	29	25	-4	1	直 轄	豊岡円山川	5	96.19	18	21	3	0
	神 戸 垂 水	5	96.12	31	31	0	5	直 轄	和 田 山	4	89.77	22	22	0	1
	神 戸 ハーバー	4	85.45	12	12	0	0	直 轄	小 計		92.60	113	117	4	2
	神 戸 西 神	5	98.60	36	39	3	2	直 轄	西宮イブニング	2	90.00	0	20	20	9
小 計		91.84	238	234	-4	16	合 計	74RC		91.54	2,833	2,857	24	113	

◆クラブ数…………… 74RC  
 ◆2015年7月1日 クラブ会員数……2,833人  
 ◆2016年3月末 クラブ会員数……2,857人

◆2016年3月末女性会員数…………… 113人  
 ◆2016年3月平均出席率……………91.54%  
 ◆増 減…………… 24人増